

湖口河富士  
ズールフィ

## 国の市民活動支援事業に認定

# 残飯を分解、肥料化



小佐野常夫町長から認定証を受け取る田村孝次専務理事（左）  
＝湖口河富士町役場

ぐんたい

先駆的な活動を行うNPO団体などに対して助成する国の市民活動団体等支援総合事業に、湖口河富士町のNPO法人フイルズ（横田聖美理事長）の食品残渣（きんさ）リサイクル計画が認定され、十七日、認定証が交付された。町内の宿泊施設などから出る残飯を分解し、飼料・肥料として再利用する計画で、九月にも

活動をスタートさせる。同事業は、内閣府が本年度から実施していて、認定したNPO団体などに、五百万円を上限に取り組みを支援している。フイルズの計画は、町内で出た残飯を回収し、処理機で分解し飼料・肥料にして畜産や農業などに役立てる。フイルズは町内の各種団体に

参加を呼び掛けるとともに、百九十七万円の助成をもとにコーディネート役となって研修会などを開き、普及・啓発活動に取り組む。既に町内の十団体以上が事業参加を希望している。

町役場で行われた交付式では、小佐野常夫町長がフイルズの田村孝次専務理事に認定証を手渡した。田村専務理事は「町内では宿泊施設などから大量の残飯が出るので、リサイクルに大きな効果が期待できる。多くの団体の参加に期待したい」と話していた。